**工学研究科　航空宇宙工学専攻　前期課程　専門科目**

**「航空機国際開発プロジェクト特論」授業案内**

 令和２年９月１０日

 航空宇宙工学専攻

 　教授　笠原次郎

1. 本講座の目的およびねらい

　航空機産業を支える優れた人材輩出を目指し、産学協同の枠組みに基づいて、産業界の航空機実学知識を有する教員により、民間航空機の開発・設計・製造・販売・運用等に関わる実践的・創造的な教育を提供する。

　航空機の開発・設計・製造・販売・運航・整備等に関わる極めて広い工学関連分野を体系的かつ実践的に理解し、創造的に活用できる能力を養うことを目的とする。

教育目標：

　航空工学に加え、航空機に関するプログラム管理やシステム・インテグレーション等の広範な工学分野の知識、更にはビジネス、マネジメント、金融等の更に広範な学際的知識を、教養として駆使することができるようになる。

1. バックグラウンドとなる科目

　基礎航空工学、英語

1. 授業内容
	1. 期間：

令和２年１０月より令和３年２月までの期間の１４日（いずれも土曜日）

* 1. 講義内容：

航空機の企画、開発、設計から製造、販売、運航、整備、サポートのすべてのライフサイクルに関して

* 1. 講師：

エアライン、航空機メーカ、エンジンメーカ、　航空機リース会社、空港経営会社、更には、海外のトップメーカまで、最前線で活躍する様々な分野の専門家

* 1. 講義選択：

単位認定には、下記講義一覧の「**必修**」の10講義を受講しなければならない。

「任意」の講義受講に関しては自由に選択してよいが、「**必修**」講義と合わせて、受講する講義の合計が必ず「10」、「18」、「28」のいずれかになるようにする。

* 1. 講義一覧：

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日付 | 午前（0930-1230) | 午後（1330-1630） |
| 　 | No. | 所属 | 講義名称 | 選択 | No. | 所属 | 講義名称 | 選択 |
| 令和2年10月3日 | #1 | JALエンジニアリング | 安全性・信頼性 | 任意 | #2 | 三菱重工 | 安全性証明 | 任意 |
| 令和2年10月10日 | #3 | 元日本航空 | エアライン経営 | **必修** | #4 | NTTファイナンス | 航空機リース | **必修** |
| 令和2年10月17日 | #5 | ANA総合研究所 | LCCから考えるエアラインビジネス | **必修** | #6 | 三菱航空機 | Market Intelligence | 任意 |
| 令和2年10月24日 | #7 | 三菱重工 | 概念設計 | 任意 | #8 | 三菱重工 | 風洞試験 | 任意 |
| 令和2年10月31日 | #9 | 三菱重工 | プロジェクト・マネジメント | 任意 | #10 | 三菱航空機 | Project Program Management | 任意 |
| 令和2年11月7日 | #11 | SkyDrive | システム・インテグレーション | 任意 | #12 | 三菱航空機 | Systems Engineering | 任意 |
| 令和2年11月14日 | #13 | SUBARU | マネジメント・オブ・テクノロジー | 任意 | #14 | 川崎重工 | ヘリコプタ設計 | 任意 |
| 令和2年11月21日 | #15 | 住友精密 | 降着装置設計 | **必修** | #16 | 川崎重工 | 電装システム設計 | **必修** |
| 令和2年11月28日 | #17 | ナブテスコ | 油圧システム設計 | 任意 | #18 | ジャムコ | 内装設計 | **必修** |
| 令和2年12月5日 | #19 | 三菱重工 | 航空機製造 | 任意 | #20 | 三菱航空機 | Supply Chain Management | 任意 |
| 令和2年12月12日 | #21 | 三菱重工航空エンジン | エンジン設計・製造 | 任意 | #22 | Boeing Japan | 民間機事業 | 任意 |
| 令和2年12月19日 | #23 | 朝日航洋 | ドクターヘリ事業に明日はあるのか？ | **必修** | #24 | 久留米工業大学 | 民間航空機産業の現状と課題 | 任意 |
| 令和3年1月23日 | #25 | 日本航空 | MRO | 任意 | #26 | 仙台国際空港豊田通商 | 空港運営 | **必修** |
| 令和3年1月30日 | #27 | JAXA | 電動航空機 | **必修** | #28 | SkyDrive | 航空ベンチャー | **必修** |

1. 教科書：必要なスライド、プリントは都度、担当教員から配布される。
2. 参考書：必要に応じて、都度、担当教員から参考書を紹介します。
3. 評価方法と基準：授業終了時に示す課題レポートを評価し、100点満点で60点以上を合格とする。
4. 場所：　名古屋大学東山キャンパス

・主な講義：工学部２号館南館４階　２４１講義室

・１０月１０日、１７日の講義(#3,4,5,6)：工学部１号館２階　１２１講義室

・１月２３日の講義(#25,26)：手配中

※講義室は変更の可能性あり。適宜講座HPを確認すること。

1. 履修条件・注意事項

大学院の履修手続きに加えて、講座HP（名称：航空機ビジネスプロフェッショナル養成講座）の申込ページから申し込みを行うこと。

 講座HP：　<https://www.aviation-bp.mae.nagoya-u.ac.jp/>

 定員：名大生、岐大生合わせて１６名まで（先着順）

 HP申込締切：　９月２４日（木）午後６時

HP　QRコード

1. 問い合わせ先

 ・履修手続きに関して

 航空宇宙工学専攻　教授　笠原次郎

 E-mail：kasahara@nuae.nagoya-u.ac.jp

 TEL：052-789-4404

 ・授業内容、HP申込等に関して

　 名古屋大学　附属フライト総合工学教育研究センター　BP講座事務局

 E-mail：　aviation-bp@mae.nagoya-u.ac.jp

 TEL：052-747-6753